紫筍

第47号　平成16年刊

（ダンス発表会優勝Ｃ組白雪姫）

東京都立文京高等学校同窓会誌

http://www.bunkyo-ob.net/

会長挨拶

ホームページを開設。是非アクセスを！

同窓会会長　榎本幸三（4期E）

国内外の厳しい情勢が続きますさ中、恩師の先生方、同窓生の皆様、ご健勝にお過ごしのことと拝察しお喜び申し上げます。

私が、会長をお引き受けし三年目となりました。同窓会活動をより活発なものにすることを第一の課題として務めて参りましたが、まだまだ十分とは申せません。同窓会の目的は、会則に会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に協力するとあります。そのための事業として、名簿の発行（担当部長・18期B組小林洋一郎）会報の発行（担当部長11期D組簾　紘矢）、同窓生の集いの開催（担当部長26期H組小野富雄）、史上本年の総代会で承認されました、ホームページの運用（担当部長21期D組田中良一）、名役員、常任幹事の方々が、膨大な時間を犠牲にしてボランティアで仕事をこなしております。

この同窓会のお誘い掛けに積極的に参加して下さい。

「同窓生の集い」にご参加を！

同窓会では、毎年一月の第二日曜日に、母校の視聴覚教室において「同窓生の集い」を開催いたしております、参加には一千円の会費を頂いておりますが。文京高校の最新の状況を、校長先生よりご報告頂く。学校施設の現状を見学。恩師の先生方にご参加頂き、歓談の場の提供など。上手に利用されれば、それなりの価値はあるものと思います。私ども4期生は今年、二年毎の同期会を十月十七日（日）「集い」の当日五時より大塚近辺で開催し、「集い」に参加し、その後に、学校の近況などを話題に美酒を交わす予定です。

会報「紫筍」に投稿を！

会報「紫筍」に、クラス会、同期会、海外でのクラスメイトの活躍ぶりなど、積極的に投稿して下さい。会報の役目は、会計報告、奨学貸助金・運営協賛金協力者一覧表・卒業生進路状況・新年度役員名簿などは、私ども役員が記述いたしますが、消息欄などは、会員の幅広い層からの投稿により、充実した紙面にしたいと願っております。

住所変更の際は同窓会にもご案内を！

名簿も、毎年新入会員を加え最新のものを三月に発行しております。残念ながら、卒業後十年以上経つと三〇％ぐらいが住所不明で会報が四〇〇通ほど返されてきます、新入会員が増えても会報の発行部数はこの十年ほとんどふえておりません。クラス会を開催した後の最新の名簿、婚姻などによる、転居の際のご案内も母校内同窓会宛に送付してください。

ホームページにアクセスを！

昨年より、テスト的に同窓会のホームページを立ち上げました、本年の会則改正で来年度より予算化し、本格運用となります。直近の情報を掲載いたしますので、アクセスいただき、同窓会と母校をより身近なものとしてください。

運営協賛金・奨学賛助金・名刺掲載にご協力ありがとうございました

平成十五年度も、皆様のご協力により、黒字の会計報告をいたすことができました、入会金の終身会費制度による運営では、積極的な運営はいかに、ホームページの立ち上げ方法等同窓会活動の源は、皆様の浄財によるものと心より感謝申し上げております。

「規律ある自由」について

校長　高木　克

本校の十六年度学校経営計画に謳う「目指す学校」実現のための柱は、「規律ある自由」「進学指導の充実」「部活・行事の振興」で、中心テーマは「規律ある自由」です。

都立の進学校の中には、部活と行事を制限すれば、そのことに夢中になっている生徒たちは自由な時間が増えるので勉強するはずと思いこみ、部活・行事に極端な制限を加えるところがあります。しかし、生徒が生き生きと活躍し、活力ある学校であり続けるためには、部活動と行事は外せません。また、生徒と保護者の願いは、自分に見合った上級学校への進学であり、進学指導の充実はやはり避けて通れません。

現状満足と刹那主義の急増

私が「規律ある自由」を提唱するに至った理由は二つあります。一つは、平成十四年四月着任当時の学校の実態に由来します。本校には「生徒や保護者は現状に満足しきっているから何もする必要がない」とし、諸事成り行き任せの教員がいましたし、生徒にはこのことが居心地良いものだったらしく、生活態度が決して誉められない者がいました。

また、現実の社会では、目先の楽しさ、楽で楽しいことが最優先で、将来の夢や希望について考えず、今が良ければよいという刹那主義的考えの子どもが急増しています。日本の若者の意識が、なぜ、かくも変わってしまったかということを教育という視点から考え、戦後流入した欧米の教育思想と無関係ではないと判断したことが、今一つの理由です。

先行アメリカで教育崩壊現象

類似の状況は、子どもの自主性、創造性を重視し、強制・制限しないこと、大目に見ることに特徴がある自由主義教育を日本より先に展開した欧米にもありました。欧米では自己決定に基づく選択制の拡大と創造性重視の学習を重視した自由主義教育を受けた世代が親になり、自由主義教育が蔓延するとともに、許容社会と呼ばれる社会が出現しました。特に、アメリカでは、デューイの教育思想やニールの影響もあって、子供に対する厳しい躾に罪悪感を抱き、子供に対してあまりにも許容的になり、自由と放縦をはき違えた親が多く出現し、教育崩壊現象を助長したと言われています。そして、かつての日本の教育システムを手本に、学力と社会秩序を回復させて来た経験があります。学力低下問題や青少年犯罪の増加が自由主義教育と無縁ではないということは、カリフォルニア州における教育行政の変遷の結果が物語っています。

規範意識は学習意欲に通ず

今、我が国では、戦後世代の教育観に自由主義的教育思想が加わり、変に物わかりが良すぎる大人が増えているという危惧を覚えます。基本的生活習慣や社会規範を躾けることが軽視されているからだと思います。

都立高校における生徒評価の中で最も評判が良いのは「怒るべきときにきちんと怒る先生」であることを見ると、生徒はきちんとした対応を望んでいることが分かります。一方で、日本の若者は、米中韓と比べて規範意識が育っていないことを示す平成二年及び十四年の調査報告があります。日本においても許容社会の出現は避けられないでしょう。それ故、学校の自助努力によって、子どもに規範意識を教える必要があります。規範意識の高さと学習意欲の高さにはかなり高い相関があるという調査報告もあり、学習・進学面でよい結果を生むという期待があるからでもあります。

10月17日(日)は「同窓生の集い」

招待学年・6期の人々の近況

二年間のジプシー生活、三年生でやっと現在地校舎へ。

私たち六期生は、一年生時は豊島区大塚台小学校に、二年生時は文京区元町小学校に間借りし、三年生時に現在地の校舎に移るというジプシー生活を送ったのである。大塚台小学校は、現在のサンシャイン、その昔の巣鴨プリズンの隣にあり、区営グラウンドでは、創設したばかりの女子プロ野球のチームが土ぼこりの中で練習をし、試合をやっていた。レッドソックスとかイーグルスとかの名前のチームがあり、黄色い声がグラウンド一杯に響き渡っていた。巣鴨プリズンの中にも野球場があり、こちらは青々とした芝生に、段のついたスタンドがあって設備は素晴らしかった。大塚台小学校には、我々の使用するグラウンドがなく、体操の時間は、現在の文京高校のグラウンドまで山手線を跨いでいる空輝橋を渡り、巣鴨新田の停留所の側を抜けて通ったものである。

同期の方々についてみると、**A組**で、**青木潔氏**は大学生時代に、バスケットボールで、日本で開催されたアジア大会の試合をはじめ国際試合にも出場する等華やかな存在であった。熊谷組に入社してからも活躍されていたが、在職中の平成九年病に伏せて、多くの仲間に見送られながら鬼籍に入られた。**荘司菊雄氏**は、東京理科大で教鞭を執られていた。どなたであったか記憶が薄れているが、同期の女性の方が、「私の子供が荘司さんに教えを受けたけど、私も文京高校の生活クラブで彼のお世話になり、親子で彼にお世話になりました」と話されていた。彼は、現在、武蔵大学付属高校で講師をされておられる。**橋本文夫氏**は東京外国語大学を卒業後、東京銀行に入社され国内の支店の他、海外の支店の要職を勤められた後、帰国後は東銀投資顧問の代表も務められた。**椎橋章二氏**は現在三協ラボサービスの代表だが、永年母校の奨学金基金に多大な寄付行為を行って同窓会の運営にも大きく寄与されている。

B組で、**浅井信雄氏**は東京外国語大学卒業後、読売新聞に入社され、海外特派員としてアジア、中東やワシントンに勤務した関係から、現在、国際政治の専門家としてテレビ等にも多数出演し、著述家として活躍されていて、「中東を読むキーワード」「民族世界地図」等の著書も多数ある。彼は平成七年当時、神戸市外国語大学の教授をしておられたが、一月十七日講義を行なうため前夜から宿泊していたホテルで、早朝に発生した阪神淡路大地震に巻き込まれた稀有な経験を持っておられる。それはそれは激しいもので、言葉にはとても表せるものではないとのことであった。同クラスの**福田功氏**は慶応大学卒業後、NHKに入られ、永年にわたり報道の仕事をしてきたが、現在は、悠悠自適の毎日を送られている。このクラスに**郷茂昭氏**がいる。彼は東京大学にストレートで合格した秀才であるが、一年生の冬、富士山で行なわれた東京大学山岳部の冬季合宿訓練中起こった大きな雪崩に巻き込まれ、多くの学友とともに命を落としたが、生きていれば大成していたのではないかと惜しまれている。**青木一郎氏**は東京都庁に就職し、公害局、環境局を歴任し、騒音・振動・低周波空気振動という公害の行政、研究に従事した。退職後はグリーンコンシューマー東京ネットに所属し、グリーンコンシューマー育成・環境型社会の推進のためのボランティア活動を行っている。また、文京卒業以来クラス幹事を担当し、玉城先生在任中は毎年クラス会を開催していた。

C組では、ご健在の中田先生を囲んで、二年に一度のペースでクラス会を開いている。毎回二〇名弱の級友が集まり、楽しいひとときを過ごしている。多くの級友が既に社会の第一線を退いているが、そんな中で**尾形佳郎氏**は依然として第一線で活躍している。彼は慶応大学医学部を卒業後慶応病院で肝臓・腎臓・膵臓を主体に外科手術担当、その後、米国留学を経て栃木県立ガンセンター設立時に外科部長として招かれた。その後、病院長に就任、現在、名誉院長の肩書ながら、優秀な腕前から今でも十時間にも及ぶ外科手術を行なっている。これまで数多くの人命を救ってきた、頼れる友人である。また、クラスで信望の厚かった**足達登氏**は東京学芸大学を卒業して教師となり、足立区の関原小、足立七中、北区浮間中、北中で二七年間教鞭を取った。在職中に校長から何度も管理者コースの選択を勧められたが、子供たちと直接接して指導することが好きで、一生教員の職を貫いた。学校生活に馴染めない問題生徒と正面から向き合い、立ち直らせた生徒は数え切れない。最後に赴任した北中では、荒れている学校を建て直す

ために「合唱の出来る学校」を提案し、成果をあげた。退職の年、「送る会」で生徒全員による合唱があり、問題の生徒が涙を流しながら一緒に歌ってくれた。感動のあまり、涙で

平成12年C組クラス会（銀座アスターお茶の水館）
前列左より　足達、小森、高鷲、中田先生、浜口、石崎、岩城
後列左より　西原、筒井、岡部、塩川、戸張、保坂。

最後の挨拶が出来なかった。**保坂寿一氏**は東京理科大学で自らダンス部を創設、東都大学舞踏競技大会で見事優勝、全日本学生競技会でも四位に入る快挙を成し遂げた。就職した東芝メディカルでは機会が中々なかったが、退職後は、再び健康維持もかねて毎週二～三回ステップを踏んでいる。そのためか、未だに若々しい。**筒井延雄氏**は二〇年前から座禅を組むことを始め、現在は上野警察署前の臨済宗徳雲院で住職よりの依頼で毎週金曜日の夜、座禅会を開いている。

D組では、**大根田昌生氏**がバスケットを通して、文京高校の先輩、後輩との交友が広く、現在も同期会やOB会等の学校関係の行事で活躍されている。

E組の**国武敬氏**は、東京大学野球部でキャッチャーとして、六大学野球で活躍され、後に三菱商事で商社マンとして活躍されたが、数年前亡くなられた。同クラスの**西岡澄子氏**は、文京高校でも教鞭を執られた西岡先生の奥様になられ、同窓会やクラス会等のお仕事で幅広く活躍されておられたが、最近、やや健康を害し活動を控えている。同クラスで、**白崎英介氏**はテレビ朝日で二時間ドラマ、土曜ワイド劇場のプロデューサーとして活躍され、同番組をご覧になった方も多いはずである。

F組では、**宇田川満氏**が東京都に奉職され、後年は環境科学研究所で大気汚染の研究に没頭され、ヒートアイランドの研究等でその道の専門家として名を馳せている。このクラスの**河野敬熙氏**のご母堂は大妻女子大学の家政科の教授で料理研究家として、昭和三〇年代から四〇年代にかけてNHKのテレビ番組に出演されておられた。彼はテニス部に属しており、対校試合等にも出ていた。

卒業後、自治医科大学に進学し自衛隊の病院の医者になっているとのこと。

文京高校での体育祭、文化祭、修学旅行その他日常の学業の中での多くの出来事や想い出が、走馬灯のように浮かんでは消え、消えては浮かんでくる。青春の甘く、楽しかった生活とその中で育てた友情は今も続いている。ここまで我々をご指導頂いた、先生方と同窓生各位に感謝申し上げたい。文京高校に栄あれ。

（各クラスの近況については、A組・荘司菊雄氏、C組・塩川佳司氏、D組・大根田昌生氏と竹内靖子さん、E組・神田坦氏、F組・宇田川満氏が取材を担当、B組青木一郎氏が取りまとめた）

なお同窓生の集いの後、ホテルベルクラシックで同期会が開催される。

25年ぶりの再会が楽しみ

招待学年31期　加藤　智

先日、同窓会の事で級友から連絡があり文京高校を卒業してから二五年経ったと言われ、もうそんなに経つものなのかと感慨に更けてました。

二五年振りに聞く友人の声。時の経つのも忘れ、電話で話し込んでしまいました。文京高校時代のクラスメートの顔が頭に浮かび、思い出話に花が咲きました。担任教師だった松浦先生は今、どこの学校にいるの？と聞いたら、もう定年退職されて、お孫さんもいらっしゃると言われ、愚問だったと思いました。自分の中では、あの時から時が止まったままなのです。あの頃の皆があの頃のままなのです。卒業後、二五年も経っているのです。考えてみれば、結婚して当時の自分達くらいの年の息子や娘の親になってる年齢なのです。

自分にも、今年の春、高校を卒業した娘が一人おりますが、当時の自分と置き換えてみると、随分と親に心配や迷惑を掛けたなとつくづく思います。

当時、自分がやった事などを娘がしようとしたら、はたして許してただろうかと考え込んでしまいます。もう高校生なんだから大丈夫という自分と、親からすればまだ高校生なんだから心配という、一番難しい年代なのです。

そのころの文京高校は、三年間クラス替えも無く、担任の先生も変わりませんでした。それゆえクラスの仲は、男女とも仲が良く、いざという時は、まとまりのあるクラスでした。高校生活最後の文化祭でやった『オリエント急行殺人事件』の劇では、一人一人が得意分野を活かし衣装や小道具を造り、全員一丸となり、ひとつの目標に向かい、それを成し遂げた事に喜びを分かち合った事が昨日の事のようです。「同窓生の集い」は今年招待年度となり、そこで先生方を囲み、級友に会える事を楽しみにしています。（31期F組）

あの頃の文京、あの先生に聞く①

地歴部OBから二人の博士が誕生

中田重成先生

（昭和二二年～五四年・人文地理、八八歳）

七月四日、かつてご指導を受けた6期C組の塩川佳司・高橋くに子の両名が奥多摩青梅市のご自宅に中田先生をお訪ねした。先生は、三時間もの長時間の取材にもかかわらず、終始ご丁寧に対応をしてドさった。

―先生は大変ご高齢ですがお身体の具合はいかがですか。

中田　僕はこれまで健康には人一倍注意を払ってきた積もりだが、寄る年波には勝てないね。高齢者特有の骨粗しょう症で頚骨の軟骨がすり減って、神経に触りとても痛いんだ。また、前立腺肥大にも悩まされている。

―ご出身は北陸と聞いていますが、どんな少年時代を過ごされたのでしょうか。

中田　僕は石川県金沢市近郊の鶴来町で大正五年に生まれた。四人兄妹の三男坊だった。子供の頃から病弱だったこともあって、外で運動するよりも家の中で静かに本を読むのが好きだったね。

農地改良の実地調査で全国を

―人文地理を専攻されたきっかけは？

中田　苦学して法政大学専門部に入学してそこで経済地理学の野口保市郎先生、学部で小野武夫先生に出会い大きな感銘を受けたんだ。将来、農業地理学の先生になろうと決めたのは、正しく二人の先生のお導きによるものだ。小野先生に従って地方の農地改良の実地調査で全国各地を歩き廻ったのがとても勉強になったね。

―先生が初めて教師になられたのは？

中田　教員免許を取得して戦時中に大学を繰り上げ卒業し、武蔵野市の私立関東中学校（現在の聖徳学園）の教師になった。当時は大変な食糧難の時代だったが、生徒の父兄がさつま芋の差し入れをしてくれた。お陰で何とか生き延びることができた。

―昭和二二年に都立豊島中学校に赴任されていますね。

中田　戦後、教育制度の抜本改革で公立の中学、高校で教師不足となり大学同窓の菅野先生から転校のお誘いがあった。

将来のことを考え、東京都に願書を提出、運良く都立豊島中学校に採用された。昭和二二年、仮校舎の水道橋の元町小学校に着任したが、混乱の時代で机、椅子、備品など全てが不足してまともな授業ができなかった。

退職するまで文京で教壇に立つ

―文京高校二二年間の在職で、一番印象に残った時代はいつ頃でしたか。

中田　退職するまでずっと文京高校にいたので思い出は尽きないね。でも、昭和二〇年代に二年生の担任を2期、4期、6期と続けて受け持ったこともあって、最初の十年間の印象が特に強い。豊島中学校の伝統が生きていたし私立高校もまだ充実していなかったこともあって、優秀な生徒が入学してくれたし、教師たちも全体的に若く覇気があったよ。授業では生徒から鋭い質問が相次いでね。思わず身震いがでるほど活気と熱意が迸っていたことを今でも鮮明に覚えている。

四〇年代の学校群制度の実施、それに続く学園紛争で、本校の良き伝統も失われてしまった。都立高校にとって本当に不幸な時代だったと思う。

地歴部で各地の地理歴史を研究

—クラブ活動はどうでしたか。

中田　地歴部正式には地理歴史研究会は戦後間もなく菅野先生のご指導により発足した。僕も指導教官の一員としてこの部活動に当初から積極的に参加した。毎年、四月の新学期に全部員が集まって討論の上、研究テーマを決めるのだが、学生たちにはこれが簡単のようで結構大変な学習だったと思う。先ず資料集めから始まり、現地調査のための下調べをし、具体的な調査項目を決める。夏休みを利用して一週間位の現地調査（巡検といった）を行い、自分の目で事実を検証する。北海道から東北、関東、北陸と東日本が多かったが各地を訪問したよ。現地ではお寺に泊めて貰ったりしてね。

青梅のご自宅で

この調査結果は、秋の文化祭で発表して、翌年三月には地理歴史研究概報として小冊子に纏めた。

なかでも、北海道の奥尻島の漁村の生態、能登半島の内浦漁村の研究、新潟県三面村の隠田研究、富山県五箇山の大家族制と合掌造りの研究などの発表では、学外から表彰されるという快挙を成し遂げた。地理研究会、駒澤大学や日本大学から優秀賞を授与されたんだ。部員数が少なくて存続が危ぶまれる時期もあったが、熱心な学生の参加で文京高校の名声を挙げることができた。指導教官として大変誇らしく思っている。

この地歴部員であった中村勝君（日期A）は京都大学農学部で農学博士に、また、田野宏君（23期B）は日本大学文理学部文学博士となった。活発なクラブ活動だったが、五三年度限りで休部となってしまった。実に残念で仕方がない。いつかまた復活することを願ってやまない。

「同窓生の集い」で6期生に会えるのが楽しみ

この部活動にかって参加した諸君達（9期生が主体）が地歴OB会を結成してくれて十一年になる。子育てが終った女性も含めて十五名程度のOBが毎年集まり、各地に一泊の視察旅行会や食事会を開催、昔の調査旅行を懐かしんだりして旧交を温めている。実に楽しい会合だよ。

—本校を退職した後はどうしていましたか。

中田　代々木ゼミほか二～三の予備校の講師を勤めたり、人文地理の参考書や受験整理の指針を出版したりした。現在は自然を相手にのんびり過ごしている。今年は君達6期生が卒業五十年ということで、僕も同窓会の集いに招待されるそうだが、その席で他の組の諸君達とも久し振りに顔を会わすことが出来そうで、とても今から楽しみにしている。それまで十分体調管理に務めたいと思っている。

—先生のご趣味はなんですか。

中田　これといった趣味はないが、強いて挙げれば古本屋を訪ね歩くのが好きで、欲しい専門書を発見した時の喜びは忘れることができない位感激だった。買い集めた書籍で書斎は埋まってしまい、身動きもできない位だった。数年前、大病を患った後、妻から何とか整理してほしいと言われ、仕方なく泣く泣く殆ど処分した。図書館に寄贈したかったが、学術書はいらないと断られ、止むなく神田の古本屋に買って貰ったが二束三文だった。二トントラックで運び出された時は涙が出たよ。貴重な専門書が何冊もあったんだがね。残念だったよ。

二四年前に小金井から青梅に引っ越した。空気もきれいで春の新緑、秋の紅葉の時期はとても良い所だと思う。近くに吉野梅郷や奥多摩渓谷、吉川英治記念館などがあり散歩コースには恵まれている。

あの頃の文京、あの先生に聞く②

学園紛争という辛い時代を経験

岩田浩司先生

（昭和四二年～五六年・生物、六八歳）

—先生はどのようなきっかけで教職に就かれたのですか

岩田　私が生物に興味を持ったのは、小学生の頃、十歳年上の兄に、昆虫採集にたびたび連れだされたことがきっかけです。昆虫を通じて、生物への興味を深め、例えばチョウやハチやトンボは皆、飛ぶ機能を持ちながらなぜそれぞれに形が違うのかなど、疑問にふけりながら生き物と向き合う事が好きでした。生物は好きでしたが教職は考えていませんでした。真剣に教職に魅力を感じたきっかけは、大学四年生の農業高校での教育実習でした。放課後、たくさんの生徒と語り合う内に、人と話す事が苦手だったにもかかわらず、教職に魅力を感じました。

生来の昆虫好きが害虫の研究を…

本当は昆虫の純粋科学をやりたかったのです。しかし千葉大の園芸学部では全て応用科学になっていました。栽培植物を昆虫から防御する研究が主になる。昆虫は皆かわいいので私の心から言うと害虫ではないんですよ。しかし、卒論のテーマは、やはりどうやって害虫を殺すかということになるわけなんです（笑）。卒論は十分な結論に達しなかったので、教授に、研究を続けた方がよいと勧められ、西ケ原にある東京都の農業試験場を紹介されました。

卒業後も大学の研究室に残りました。ところがその年の九月に教授から、東京の高校の講師にと誘われました。お世話になっている教授なので断る訳にもいかず、都立農芸高校の教壇に立ちました。結局、昭和三四年の三月に大学を卒業し、大学の専攻科に残り、十月から農芸高校の講師となり、翌年の五月に農芸高校の全日制に着任しました。もし研究室に残っていなかったら、都立高校の教員にもなっていなかったのかもしれない。教授の薦めに従って講師となったことも、今思えば、良い縁だったのですね。全日制から異動し、農芸高校の定時制には三年ほどいました。全校生徒が八十人の東京都の中でも小さな学校でした。定時制にいると、全日制に移りたいという思いがわき出てくるのですが、生徒の顔を見ていると、その思いがまた罪のような気がしました。

—その後国立高校に転任されていますが…

都立国立高校の校長から、化学と生物の両方を受け持つなら、来て貰いたいとのことで国立高校に転任することになりました。そこではバスケット部の顧問をしました。定時制が無かったので、部活動は午後の八時頃までありました。成増の自宅に着くのは十時頃で、翌朝は五時に起き六時には出勤しなければならず、教員としての勉強やアメリカの教科書の翻訳の時間を保つのが大変でした。三年続けたら、どうにも通いきれなくなりまして、また次男の出産を控えた家内のことも気になり、教頭によい異動先はないか、と相談したところ二、三年か三年で、変わる人はいませんよ。」と怒られてしまいました。

石上先生と交代で文京高校へ

—文京高校には四、三年からですね。

これも不思議な縁で、東京都生物教育研究会で私の異動希望がどう伝わったのか、文京高校の石上先生が、「俺が代わってあげるよ」ということになり、石上先生は国立高校に、私は文京高校にと異動しました。

私が文京高校に着任した昭和四二年は学校群制度が始まった初年度で、三年後文京高校には学園紛争が起こり、私の担任した学年が、その紛争の中心でした。昭和四四年の秋、ヘルメット部隊が管理棟をバリケード封鎖しま

した。彼らの要求は、クラブの顧問制を、自由にする、選択科目を増やせ等でしたが、文京高校では既に全部行われていたのです。ですから、本当に彼らが求めていたものは、現状をストップさせる事だったのではないか。また大学生のオルグもあり、大学生に認められるためには何かをやらねばならず、彼らも大変だったのでしょうね。進学指導に熱心だった先生ほど、彼らの攻撃の的でした。その頃生物と地学とが合同で、一学年を春、夏、秋と三つのグループに分け、一年かけて富津海岸の自然を研究する計画がありました。しかし秋は紛争で実施できなかったので、生徒は是非授業を続けてくれと詰め寄ってきました。しかし、生物だけ授業を再開するわけにもいかず、受け持った生徒全員が本当に授業を受けたいのか討論し、一人でもそう思ってない生徒がいるなら再開できないとつっぱねました。その当時文京高校の教職員はいろいろな考えを持っている方がおりましたが、生徒を守ろう、警察の力を借りず、自ら解決しようと言う点では一致していました。明け方の四時に三方から突入し、バリケードを解除しました。しかし紛争はその後三年は続いたと思います。職員室まで安保反対を叫びながらヘルメットをかぶった生徒が入って来たこともありました。ただ文京はバリケード解除後、話し合いで解決していく方針をとっていましたので、実力行使はありませんでした。辛い時期でした。授業が再開されても、聞く意志を持たない生徒も多かったので、言葉がひゅうと後ろの壁板まで抜けていって途中で消える。彼らの心に入っていかない辛さがずっとありました。

光が丘公園で

忘れられない高田先生のウニの研究

—生物部の集まりが復活したそうですね。

岩田　文京に着任した時同じく生物を担当していた高田先生が、残念なことに近年亡くなられました。先生の研究テーマはウニの発生でした。当時同年齢の高田先生はまだ独身でしたがある朝、「岩田先生、私の子供が生まれました！」というのです。結婚の話も聞かないのになんでかと思っていたら、ウニの話だったのです。ウニは受精卵から何回か変態を繰り返すのですが、あのとげのある形になる前にウニの子どもがどんな餌を食べるのか分からなかったのです。あの時の高田先生の嬉しそうな顔は、忘れられません。その高田先生が亡くなられ「偲ぶ会」を催そうということになりました。昨年の秋の偲ぶ会には先生の奥様と息子さんもいらっしゃいました。

嬉しい生物部ＯＢ会の復活

その席で、生物部ＯＢ会をもう一度再建したいなぁという話が盛り上がって、二月に幹事会を開いて六月に復活第一回の生物部総会が開かれ、百人近く集まりました。私よりも年上の人が十九人もいてすごかったですね。私と入れ替わりに国立高校に移られた石上先生も八十歳になられ、久々に会いました。文京では十四年間で担任を五回やってるんです。担任が好きだったのですね。文京高校の後は小石川高校で定年を迎え、北園高校で嘱託を勤めました。北園高校は私の母校で、校舎も職員もすっかり代わっているのですが、母校というのは何か安心感があり、何となく昔のムードが漂っているんですね。嬉しかったですね。

—近頃の教育について感じられていることは？

岩田　ドイツでは教科書に、収容所で行われた悲惨な事実が明記され、きちんと教えている。アメリカの教科書にも放射能の危険性について十分なページを割いて説明している。日本も思想的に右とか左とか言うことではなく、時代の風潮に左右されず、核・原発の問題等、教えるべき事は教えていかなければならないと強く感じています。　（28期A湯澤一夫）

「あの頃の文京、あの先生に聞く③」

私の心の大空高く舞い上がれ文京生

羽生和政先生

（平成七年～十六年・英語、六十歳）

―羽生先生は平成七年に文京に来られ、本年三月まで英語を教えられていました。

羽生　私が赴任した五校のうち四校は第四学区です。まず王子工業（六年）、北多摩高校（一年）、志村高校（八年）、高島高校（十二年）、文京高校に九年で、王子工業・北多摩・志村ではサッカー部の顧問を、高島・文京ではテニス部の顧問をしました。スキーも得意ですよ。

―実は、先生が高島高校から文京に転勤された時、私の姪が高島高校に在学しており、「羽生先生という良い先生が文京に転勤したが、文京の方が伝統もありレベルも高いからしょうがないね」と言っておりました。北多摩高校の二年間を除くと第四学区の学校で教鞭を執られたわけですが、先生は東京のご出身ですか。

羽生　鹿児島県生まれで、六人兄弟の末っ子です。小学四年の時上京し、都立立川高校から早大英文科を卒業しました。航空関係に就職したかったのですが、当時は不況で採用がなかったので、教師になりました。

文京が最後の勤務校に

―文京高校では、平成七年から三年間、50期の担任を、平成十年から二年間、52期の担任をなさいましたね。

羽生　文京高校が最後の学校になったのは大変良かったと思います。竹内・渡部・飯沼・湯澤・平岩先生などOB教師と一緒になったのですが皆性格が良くいろいろ助けていただきました。最後の学校ですので、もっと楽しくやっていこうと考えました。五年間担任をし、50期と52期を卒業させ、最後の四年間は生徒部で自治会の役員の生徒達と接することが多く、生徒総会・文化祭など楽しい思い出がたくさんあります。

文京生は潜在能力はあるが、おおらかでのんびりしている。一浪すれば伸びますね。今年の卒業生で浪人している者から「先生は今暇なのだろ。教えて欲しい」と声がかかります。

―アフターサービスですか？

羽生　そうですね。本人だけではどうしてもわからない点についてですが、この喫茶店で行っています。文京生の英語について言いますと、三割の生徒はしっかり勉強しているが、あとの七割の底上げが必要でしょう。文京の教師メンバーは良いし、体制もできている。文京ではオーラルと選択科目があり英語の好きな生徒には良い環境だと思います。高木校長のめざす「中堅校から一ランクあげよう」を実現するには教師も生徒ももうひとがんばりが必要でしょうが……

毎年夏休みには自費で英米に研修に

―先生は現在、都の教育庁指導部の高等学校教育指導課にお勤めですね？

羽生　月十三日（週三日）勤務です。都立高校にはネイティヴの英語教師が一校一名ぐらいの割でいるのですが、三分の一の学校では個別には採用等ができないというので、都で年間約百人採用し派遣しています。この外人たちと面接し登録させ、四月以降各学校に紹介するのが仕事です。実際に授業が始まると学校のニーズと外人教師の性格等が合わないなどの問題が起こると間に入って対応するわけです。

―ネイティヴの外人と話をされるのですから先生の会話力もすばらしいわけですね

羽生　毎年夏休みには二週間ぐらい、英米

の研修会に出席したり、研修会で知り合った友達の所に行っています。特にシカゴとニューヨークの教師とは親しいです。ニューヨークの友達からは9・11の直後にその様子を書いた手紙をもらい、三年生の授業で読みましたら生徒も感動しました。

将棋の羽生名人の叔父さん

—先生は将棋の羽生名人の叔父さんですね。

羽生　善治は次兄の子です。兄を含め家族には将棋をする者は誰もいないのですが、八王子で友達に教えてもらって始めたようです。かつては七冠王でしたが、今はほとんど奪われて少なくなりましたが……。タイトルを取った時は主催者がパーティを開くので親戚が集まるチャンスをつくってくれるのが楽しみです。

池袋の喫茶談話室で

—よくあんなに棋譜を憶えていられますね。

羽生　かってきいたことがあるのですが、「映像化して、百手ほど読む」との答えでしたが、私には実感できません。

—テニスがご趣味と伺いましたが

羽生　区のテニスの大会には出ます。五五歳以上の部で優勝したこともあります。

演劇が好きで、特にシェークスピアは好きです。一作品が二～三時間かかりますが、ほとんど見ました。演劇と言えば文学座・俳優座・民芸等を徹底的に見ました。しかし演劇部の顧問はしませんでした。指導力がありませんから。

数々の青春群像に出会う

—文京時代に記憶に残ることは？

羽生　50期では主組はおもしろかったですね。大槻陽介と青木俊郎の二人が相撲取りのように身体は大きいのですが、お人よしで、私が身体が小さいものですから、「すけさん、かくさん」と言って学級委員をやってもらいました。体育祭の時、棒倒しでこの二人に芯になってもらえば負けなかった。でも身体が重すぎて走るのは苦手のようです。二学期になると来山元気（名前のように元気な男）などが「自分に仕切らせろ」と要望してきました。

そう言えば、A組の浅沼秀人君は文京で一番印象に残る子の一人です。生徒会長、文化祭・体育祭の実行委員長をしたり、いろいろな場面で活躍する子でした。「授業の中身を充実しろ」と教師に要望したり、時には困っている生徒や先生を助けたりする生徒でしたが、本年の一月に亡くなりました。ショックでしたね。葬式は人気者だったので、参列者が多く皆悲しんでいました。浅沼君からは色々教わった感じがします。

52期では、ノーマンド・ケン。「先生もう少し発音良くしろよ」と言うので、「俺はまだ良いほうだろう」と言うと「一応認めるが……」なんて言う。今はある大学のスペイン語科に行っていますが、就職活動が忙しいのか最近は顔を見せませんが……

—今の文京生に希望されることは

羽生　教師生活最後の挨拶で述べたのですが、文京生は潜在力があり性格も良いのですが、もう少し粘りと目標を持てば素晴らしいことになると思います。がんばって欲しい。

極力若い同窓生が学んだ先生に登場願いたく本年三月の六十歳定年までおられた羽生先生に、若い同窓生に代わってお会いしました。七月二五日(日)の午後七時～九時まで、池袋の喫茶店で、初対面ですが、一時間のお約束が二時間に延びたように楽しくお話を伺うことができました。同じ世代（先生の方が二歳お若い）で味わった空気が同じだったからでしょうか……。

（12期C組　杉本　安弘）

文京高校に赴任して

副校長　下條　隆史

比較的新しい学校を、〇数年間歩いてきた私にとっては、六四年の伝統のある文京に赴任できるのは楽しみの一つでした。その文京に着任して、幸せな数ヶ月が過ぎました。

四月一日の早朝、本校正門を入った瞬間、全身に何とも言えない微かだが爽やかなものが駆け抜けたのを今も思い出します。そして、正面体育館の「重点支援校」「夢を叶える通り道」の垂れ幕は、都立高校改革の流れの具体的な現れとして、新しい歩みを始めた文京を感じさせてくれました。

まさに、私にとっての新転地！

校訓「至誠一貫」の下、第三東京市立中学校を前身とした文京は、すでに卒業生を二万人以上輩出し、そして今まで築かれた校風と栄光の歴史は、各界で活躍されている同窓生はもとより、現役生徒や教職員に受け継がれ、まさに誇りとなり、心の支えともなっていることを、数日にして感じ取ることが出来ました。

なぜ？　具体的には、生徒諸君の快活さ、上唯講習や自習室などで積極的に勉学に励む姿、放課後や週末も活動する部活動の多さとそれに参加活動する生徒の数、体育祭で観た団体活動のよさと行事にかける生徒の意気込み、そして陰で支える先生方の真摯な姿や教育に対する情熱ある数々の取り組みなどを目の当たりにして、私が感じ取ったものでした。

素晴らしい同窓会の支援体制

加えて、同窓会による生徒や学校に対する支援体制も素晴らしく、生徒が安心し、自分の成長を期待して、学校生活を営めるようにと、日頃行われている熱心な同窓会の活動も、私の期待を膨らませるのに十分でした。

同窓会の存在意義は、伝統と栄光、そして郷愁やそこに属することによって利を求めるのでなく、優れた先輩に知遇を得て教えを受けることにあると思っております。このことは本校で活発に行われている同窓会役員会・幹事会等にも如実に表れていると感じています。そして何よりも、同窓会員諸氏の後ろ姿と様々な活動や各界の活躍が、今在籍している現役生に夢と志を持たせていただいていることは言うに及びません。

先日、学校連営連絡協議会で、ある委員が「最近、自分が卒業した文京の名前を自信持って言えるようになった」とおっしゃっていました。この機にさらに先輩方の築かれた伝統と栄光の名に恥じない文京にしていくため、私も本校のさらなる発展のために尽力したいと思っています。今後とも本校のため、ご支援とご協力、ご声援をお願いいたします。

平成十六年度
職員人事異動

今年も四名の先生が退職、黒澤教頭が三宅高校長に栄転された他九名の先生が新しい職場に転出されました。一方、十六名の副校長はじめ先生が新しく文京にこられました。

◎ご苦労さまでした

笹子　一衛　保体（平成11年～）
高橋　純夫　地学（平成11年～）
岡本　澄男　物理（平成11年～）
佐藤　伸雄　数学（平成11年～）
黒澤真木夫　教頭（平成11年～）
三宅高校長に
小泉　淑子　国語（平成5年～）
高島高に
鈴木　公美　国語（平成13年～）
飛鳥高に
沼田　英一　数学（平成8年～）
玉川高に
高井　登　物理（平成8年～）
墨田工高に
武田　明憲　化学（平成13年～）
葛飾商高に
奥西　利巳　生物（平成10年～）
足立高に
田村　孝司　美術（平成6年～）
鷺宮高に
羽生　和政　英語（平成7年～）
教育庁指導部へ
八百板智子　英語（平成10年～）
三田高へ

◎はじめまして、よろしく

下条　隆史　副校長　田無工高より
斎藤　安教　国語　紅葉川高より
小川　優子　国語　江北高より
市川　絹代　日史　小岩高より
原田　博子　数学　白鷗高より
香取　良平　数学　井草高より
村越　直樹　物理　大泉北高より
双木　泰男　物理　江戸川高より
飛田　承　化学　志村高より
亀山　隆行　生物　第四商高より
鬼木　徹　保体　豊島高より
速山　厚史　美術　日比谷高より
宮崎　幸子　英語　日比谷高より
田村　実千　英語　池袋商高より
賀谷恵美子　英語　板橋高より
伊藤　佳子　養護　代々木高より

コンビニが出張販売！

昨年から、昼休みにセブンイレブンが談話コーナーで出張販売を始めました。また永年、在校生の多くが希望してきた飲み物の自販機設置がついに今年度実現しました。市価より二〇円安いばかりか、空き缶を返却すれば更に十円が戻ります。

女子バレーボール部
都一部大会に出場

現在、一年一名、二年七名、三年九名の計二六名で活動しています。平日の練習は、男子バレーと一面を分けて練習するため、全面を使えるのはわずか二〇分程度というきびしい条件で行っています。したがって、短い練習時間を集中して取り組むことが欠かせません。休まず全力で練習するよう指導しています。

部の目標としては「常に一部大会に出場し、都でベスト32以上に入ること」を掲げています。今年のチームは、一部大会には出場しましたが、ベスト32にはあと一歩で届きませんでした。勝負どころでの弱さが勝敗を分けたような気がします。今、新チームになり、改めて目標達成のため、練習を開始したところです。

また、平生の生活の中で、大切にしてほしい三本柱を部員に伝えています。それは「誠実」「礼儀」「感謝」という三つの言葉です。どんなスポーツでもあてはまることでしょうが、とりわけバレーボールという集団スポーツをやる上で、この三つの言葉のもつ意味をきちんとおさえて、周りの人やチームと関わってほしいと考えています。そして、そこで学んだことを今後の糧として、幸せな人生を送ってくれたら、と心から望んでいます。

（顧問　藤丸俊宏）

男子バスケットボール部
二年目の挑戦

文京を卒業して二年の月日が過ぎ、教員として母校に戻り、バスケットボール部の顧問を務めて一年が終りました。

着任した時は三年前を思い出しある意味胸を踊らせて指導に望みました。ところが、定時制との取り決めで五時までしか練習ができず、満足のいく練習効果が上がらない。これでは、能力をもった選手達が力を発揮する事ができずに悔しい思いをするのでは？　危機的状況の中でも選手達はその程度の練習で充分活動している気持ちになっていて、それ以上の練習意欲が湧いてこない、そんな毎日でした。

今年は、昨年を振り返って新二年生はチャレンジャーの精神で全力投球での練習を始めました。

「Condition　Concentration　Confidence」この三つを絶えず頭に入れて指導に取り組んでいます。この言葉は、私が高校時代に恩師である渡辺秀俊先生が絶えず言っていた三つのCです。今年の五月七日に多くのOB・OGの方々に惜しまれてご逝去されました。

文京高校バスケットボール部の伝統を築き上げた先生の精神（ハート）を受け継ぎ私の二年目の挑戦は始まりました。応援をお願いします。

「バスケットボールに賭ける！」文京生を育てます。（顧問　柳屋伸明）

サッカー部
都大会常連校に！

現在サッカー部は、三年生一六名、二年生一四名、一年生二名（各学年ともマネージャーを含む）総勢五二名で活動しています。

チームの目標は「都大会常連校に！」。

ここ最近一～二年に一回は支部予選や地区予選を突破して都予選に出場している状況から一歩進めて全ての大会での都大会出場をめざしております。

昨年度からの戦績は次の通りです。

●二〇〇二年度総体支部予選突破、総体都予選一回戦敗退（対都立館）

●二〇〇二年度高校サッカー選手権地区予選二回戦敗退（対京華）

●二〇〇二年度高校新人戦地区予選一回戦敗退（対都立小石川）

●二〇〇四年度総体支部予選二回戦敗退（対都立江北）

●DUOリーグ（中央・足立・文京・豊島区の十八歳以下で構成されるチームにより構成）二〇〇二年度後期一部リーグ一位。二〇〇四年度前期は一部リーグへ昇格

●DUOリーグ二〇〇四年度前期一部リーグ第八位。

また今年度から定時制の先生やOBなどの協力によりコーチ陣も充実してきております。「都大会常連校に！」をスローガンに生徒、顧問、コーチ陣一丸となって日々の練習に励んでおります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。（顧問　祝山嘉則）

野球部
ベスト8のがす!!

夏の大会の敗戦の翌日から、新チームをスタートさせた。「甲子園で校歌を歌う」という目標を立て、達成に向けての旧チームの一年をふり返ると、二つの壁があったように思える。一つ目の壁は意識の壁である。目標設定に無理があったのでは？　目標は達成されるために、立てるのであるが、心のどこかで達成できないが、とりあえず立てるかという無意識が働いたのではないか？　達成させる目標と立てる目標にズレがあったように思える。二つ目の壁は練習量である。チームが強くなるには、強い個人が必要である。強い個人を支えているのは「練習はウソつかない」という信念と実践である。定時制併設による練習場確保の難しさを、個人の自主性に任せられているのである。早朝練習、家での素振りなどは、していなければ勝負にならないことは、わかっている。この一年間をふり返ると、夏の大会二年連続初戦負けという屈辱の中で、二年生は本当によく戦ってくれた。大変感謝している。欲を言えば、ベスト8以上の結果を出させることができなかった指導の甘さを悔いている。新チームは、旧チームの戦う姿勢を引き継いで欲しい。目標を達成させるために、自分の中にある「甘さ」を排除して、「意識」「自主性」ということを大切にして欲しい。目標は達成させるという信念で、毎日を積み重ねて欲しい。（顧問　平岩　了）

同窓会のホームページがオープン

昨年一月に待望のホームページが開設しました。これまでも開設の話は何度もありましたが、榎本会長からの強い要請で同窓会常任幹事の田中良長さん（21期D組）、山口真樹子さん（21期D組）、白川洋次郎さん（22期E組）が中心となり、昨年十月にオープンしました。内容は、母校近況報告、役員紹介、住所変更届け、関連リンク、掲示板などがあります。現在までにこのサイトへの↘

http://www.bunkyo-ob.net/

↘アクセスした数は千四百を超えて、一月百名以上のアクセスといえます。今後は、各年度ごとの掲示板を作るなどして、同期会の連絡やクラスの仲間のチャットが出来るようにしていきます。また住所変更はこのページで是非連絡を下さい。関連リンクにはOB会や同窓生のさまざまなホームページがあります。リンク希望の場合は掲示板で連絡下さい。

（広報担当部長・田中良長）

野球部後援会「球紫会」ホームページ

ホームページはOB会創立三〇周年記念行事の一環として、九九八年十一月開設いたしました。当時の最新技術を使って作成しましたが技術の進歩は早く、今では古典的なスタイルとなってしまいました。しかし「継続は力なり」と言いますが永く継続するために最新技術を追いかけるより、常に最新の情報を発信することを心がけています。内容は現野球部最新情報が主で、練習試↘

http://members.jcom.home.ne.jp/kyushikai/

↘合の予定や結果をお知らせしています。最近は甲子園出場高との練習試合も多く毎年徐々に力をつけているのが読み取れます。また、過去の大会の結果や、応援掲示板、OB・OGの名簿や掲示板などいろいろあります。特に名簿は懐かしい同期の方の名前が見つかると思います。是非一度お訪ねください。

管理人：小林洋一郎（18期）

駒込のタウンページ「駒込界隈」

駒込駅を中心とした情報サイト「駒込界隈」を運営しているのは、31期C組の小田耕一さん。駒込が勤務地で四年前に地域活動の一環としてこのサイトを立ち上げ、よく行くお店などを紹介したのが始まり。その後反応が良く昨年十月から本格的な駒込タウンサイトとしてサービスを開始している。駒込周辺の地図や公共機関、病院あらゆるお店な↘

http://komagome.info/komalink.html

↘川小・飛鳥中から文京と生粋の駒込っ子。地元ならではのレアなお店情報や掲示板、昔あったあんな店・こんな店なども満載で、昔文京生活で駒込に縁の深かった人には、必見のサイトといえる。小田さんは文京時代は生徒会長も務め、きしくも今年は「同窓会の集い」への招待学年。サイトも活用して31期の出席を呼びかけていきたいといっている。

釣人必見「沖釣り房総族」

30期B組の笠原哲也さんが運営しているユニーク釣人向けサイト。十二年前に房総半島中心にあたる久留里に引越し、趣味の釣をテーマとして、平成十二年にサイトを立ち上げた。管理人て↘

http://www5e.biglobe.ne.jp/~okibou/

↘船宿紹介、つ丸さんが新「自己」記録まで記録の七匹の房総での釣り真鯛を釣った情報が極め細話など「釣行やかに載っている。特に記」、プロの「てつ丸厨房」料理師とは違は魚の下ろし う漁師料理の方から和食、数々の紹介欧風料理の幅「釣り師料理広いレシピがてつ丸厨房」あり、料理好房総半島の美きには参考に味しいラーメになる。また30ン屋の紹介期の女性から「沖房らーめの要望で、ケん」や推薦↘ータイで簡単にアクセスできるようにクラス別掲示版も出来ている。笠原さんのB組の掲示板は、現在もなかなか活発に活動中。

圓窓落語大百科事典「だくだく」

日期C組の橋本八郎さん、ご存知三遊亭圓窓（えんそう）師匠のホームページ。昭和四四年、真打に昇進し三遊亭圓窓を襲名、四八年ライフワーク「圓窓五百噺を聴く会」を名古屋の金笑寺にてスタート。（二八年後の平成十二年三月九日遂にゴールイン）昭和六三年、ハソコン通信圓窓による「圓窓五百噺全集」スタート。当時、こんなことをする落語家は皆無だった。平成十一年のホームページとなっている。文楽連の趣旨、特典、入手などが掲出されていて、文京高校での「文落連　笑涯楽習の講座」（第二回は本誌十八ページに）の報告なども掲載されている。

http://ensou-dakudaku.net/

鉄道マニアには「鉄道研究部」

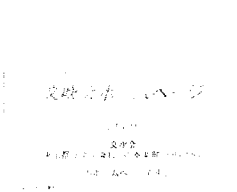
鉄道研究部のクラブの創設は一九七二年と古い。九八年三月に18期の熊倉信征さん（G組）がホームページを開設。名称は「現役」であるが、現在の運営者はOB。編集には資料収集や、工作・写真撮影・旅行など必要な知識や技能は広範囲でかつ習熟度が求められる。内容はさすがにキャリアーが制作と判る乗り物好きには楽しいコンテンツが一杯ある。まずは、「鉄道模型度チェック」ある、というのが一般的な「鉄研」の特徴といえる。しかし、一度このジャンルに足を踏み入れた者は、生涯この道から離れることは無いのではないか。ここで鉄道体験を。

http://www.ku-ma.net/brc/

吹奏楽部OB会「文吹会」

吹奏楽部OBの11期十組、河田薫が管理人。演奏会情報、連絡事項、掲示板などで構成。一般的に、中高生時代に吹奏楽部に籍をおいた者が、その後も演奏活動を継続する例は多く、母校の現役の活動に支援の手を差し出す場合であれ、大学生、社会人演奏団体に加入して活動している場合であれ、横のつながりは濃密である。「生涯現役」がありうる部活の例といえる。楽器を手放し、その絆がこのホームページ。現役の「文京高校吹奏楽部」のホームページもあり、現役の活動を中心に出来ている。活動の予定、コンクールの戦歴などが判る。

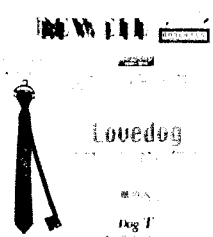
http://www.uranus.dti.ne.jp/~yaiki/bunsuikai.html



【ビーウェルインターナショナル】

21期D組の山口真樹子（旧姓：森水）さんが開設しているホームページ。一九八六年に、息子の勉強にとMSXを購入。そのままMSX専門のハソコン通信にはまり（ハンドルネーム「まきひめ」）犬グッズ販売、フリー素材など犬のことなら何でも。犬に関連した目的別に十二の掲示板を用意。ここは悩める犬飼い初心者のためのホームページといえる。「眼の人」視覚障害者への理解を深めてゆくためのホームページ。山口さんはガイドヘルパーというボランティアを体験したことから視覚障害者への理解を深めていきたいと独自のホームページを展開している。

http://www.bremen.or.jp/bewell/



歓迎!! 56期同窓会新入会員

文京が母校になって良かった

岩淵玲子（56期E）

貴重な青春時代をこんなにも素晴らしい場所で過ごせて本当に良かったと思っています。短いといえども三年間はあったわけで、多少悩んだり、怒られたり、泣いたりもしたけれど、私の文京ライフはとても楽しく充実したものでした。

こんなにも楽しさ、幸せを感じられるのは私に人生の中でこれが最初で最後かも知れないと思ってしまうほどです。

それほど、みんなと過ごした日々、その全てが思い出となり、これから私が歩む道への糧となり、一番の宝物となっています。

私はこの春、自分の夢を叶えるためにも浪人の道を選び目標の大学に向けて受験勉強を続けています。ほぼ自宅浪人の状態なので気持ちの面でも正直つらいと思う事はあります。でも、文京にいたからこそ自分の決めた道へ突き進む強さが持てたし、今も勉強を頑張れるのだと思います。今の自分があるのは高校時代あってこそだから皆に感謝しています。

56期に入学できて良かった。一年E組で良かった。バレー部に入って良かった。二年E組で良かった。三年E組で良かった。先生に出会えて良かった。友達みんなに出会えて良かった。

ここが母校になって良かった。

文京で友ができ、学校が好きになった

田村忠利子（56期D）

私は入学した頃友達がいませんでした。楽しかった中学時代が懐かしくて新しいクラスに馴染もうとしなかったからです。結局二学期が始まる頃まで独りで過ごし、学校なんて楽しくないし嫌いでした。けれどある時、ふとしたキッカケで行動を共にする子が現れました。学校にまともな友達がいなかった私は、最初はとりあえず付き合っていましたが、その子とはその後べったりになり、今も友達です。それを境に私の高校生活は突然色がついた様に変わりました。すると今度は友達が増え、嘘みたいに学校が好きになりました。私は今年、大学で空手を始めました。昨年の今頃は想像もできなかったけど、いざ始めてみたら気持ちが凛として、日本人な自分に酔ったりしています。現状を変えるにはキッカケが必要だけれど、それをどう生かすかは自分次第です。それが、高校三年間で私が体で覚えた事です。高校生活は三年間で終わってしまいますが、その間に得た知識、知恵、経験や思い出など目に見えない物から、友達など目に見える物までが財産として残ります。私が色々な想いで得てきた文京に関わる全てを今とても大切にしているし、今後もそうしていくつもりです。

（法政大学　文学部心理学科　一年）

大橋特許事務所
弁理士
17期E **大橋邦彦**
〒113-0033 文京区本郷5-1-16
NP II ビル11階
事務所　Tel.03-3814-5921
自宅　Tel.03-3957-1533

宮本智法律事務所
弁護士
18期H **宮本智**
〒169-0074 新宿区北新宿1-8-23
アムハードビル7F
事務所　Tel.03-5386-6911(代)
自宅　Tel.03-3926-5354

弁護士
3期D **原田策司**
〒104-0061 中央区銀座7-5-1
毛利ビル1F
原田・井野法律事務所
Tel.03-3571-1780

弁理士
19期H **堀田実**
アサ国際特許事務所
〒108-0014 港区芝5-26-20
建築会館4階
Tel.03-5476-6355
Fax.03-5476-7211
E-mail:asa@pp.iij4u.or.jp

弁護士
25期F **藤澤知之**
〒170-0002 豊島区巣鴨3-21-16
大坂屋ビル2階
藤澤法律事務所
http://www.bengo.info
Tel.03-3949-3770 Fax.3771

弁護士
7期D **大辻正寛**
事務所　〒102-0073 千代田区九段北1-9-14
九段ハイム707号
Tel.03-3239-4099　Fax.03-3221-9160
自宅　〒271-0072 船橋市三山1-11-15
Tel.0474-75-9401

コンテンポラリーショップ　モンマート　みかわや
のみたべや和洋酒家　三喜亭
代表取締役
26期H **小野富雄**
日本ワインコーディネーター協会認定コーディネーター
e-mail:tomio_mon@jpdirplanet.com
本店　〒113-0033 文京区本郷6-11-2-2番6号
Tel.03-3814-0201　Fax.03-3814-1871
三喜亭　〒113-0033 文京区本郷1-11-1番5号
石渡ビル2階　Tel・Fax.03-3812-5061
http://www.monmart.co.jp/mikawaya.html

村上行政保険事務所
（三井住友海上火災保険代理店）
行政書士
39期I **村上正法**
〒179-0021　練馬区光が丘2-7-3-1-401
E-mail:hrpgt500@ybb.ne.jp

有賀慶子税理士事務所
税理士
12期F **有賀慶子**
（野H）
〒101-0051 千代田区神田神保町2-14
朝日神保町フラザ　807号室
Tel.03-3221-0375

PTA会長に就任して

小林洋一郎（18期B）

私は卒業して約四〇年になりますが、卒業後も野球部のコーチやOB会の世話などをしておりましたので、母校の歴史をずっと見てきました。

学校群制度になってからの都立高の凋落は大きく歯がゆいものでした。しかし昨今やや上昇気運も見え始めたところ、タイミング良く高木校長が赴任されました。

ご承知のとおり校長先生は文京を文武両道の昔のような活気ある学校にしたいといろいろな施策を実行しております。そんな先生に協力したく、愚息が三年生になりましたので「PTA会長に、なり手がいなかったらなってみるか」と同窓会の役員会でつぶやいたところ実現してしまいました。

我が校のPTA活動は活発で、広報誌「むらさき」は毎年賞を頂いていますし、各委員会や学年会も多勢のお母さん方によって活発に運営されております。私の主な役目は上部組織（1P連、都高P連、全高P連）の会議に出席することです。

都立校は中高一貫・合併・廃校など再編成の時期を迎えております。我が校がその対象とならぬようPTAと同窓会の繋ぎ役として学校をバックアップしたいと思っております。皆様の関心を母校に向けていただければ幸いです。

平成十六年度同窓会役員・常任幹事

名誉会長　静谷　晴夫（11四期B）
会　長　榎本　幸三（新1期E）
副会長　若尾　迪治（10期A）
　　君崎　悦子（11期E）
　　杉本　安弘（12期C）
総務担当部長　二瓶　鋭二（11期C）
　　梶野　茂男（19期A）
会計担当部長　鈴木　孝（13期C）
　　大野　公代（19期B）
会報担当部長　籏　紘矢（11期D）
名簿担当部長　小林洋一郎（18期B）
集い担当部長　小野　富雄（26期H）
広報担当部長　田中　良長（21期D）
監　査　有賀　慶子（12期F）
　　榊　恒一（26期F）
常任幹事　椎名　健二（5期E）
　　青木　一郎（6期B）
　　塩川　佳司（6期C）
　　山添　忠親（7期A）
　　大野　透（20期H）
　　山口真樹子（21期D）
　　白川洋次郎（22期E）
　　飯沼　美雄（23期C）
　　横山　和夫（21期C）
　　金山　誠吾（26期A）
　　相川　政美（28期A）
　　根木　敏孝（28期G）
　　和賀　輝代（28期G）
　　山本　喜一（30期B）
　　本多　裕子（30期C）
　　駒宮　浩子（31期F）
在校OB教諭　湯沢　一夫（28期A）
　　平岩　了（32期I）
　　柳屋　伸明（32期H）
顧　問　河野　一郎（2期A）
　　横澤　靖夫（2期C）
　　太田　敏夫（3期A）
　　林　敏子（5期D）

鉄筋コンクリート
鉄骨建物、木造住宅、店舗、デザイン・設計・施工
総合建設業
武商事株式会社
10期B　武　禎一
Tel.03 3941 2621
〒112 0006 文京区小日向2 19 10

勝村建設株式会社
取締役相談役
5期D　市川英雄
本店建築本部積算部長
23期G　山ノ内裕
〒110 8661 台東区根岸1 2 13
Tel.03 3876 0111（大代表）
Fax.03 3876 6900

植村設計事務所
一級建築士
7期D　植村邦夫
〒113 0001 文京区白山1 29 10
Tel.03 3811 6612

母校近くで建築、不動産業を営んでいます。先代より創業50年になりますが、文京高校時代の恩師、先輩、友人に恵まれ、日々感謝の心で歩んでいます。
〒170 0001 豊島区北大塚2 27 3
(株)富士建　代表取締役　Tel.03 3910 3208
13期C　鈴木孝

宝建設株式会社
代表取締役
11期C　二瓶鋭二
〒170 0002 豊島区巣鴨3 25 10
Tel.03 3917 5446

26期F　株式会社　正方形
graphic design lab
重田曜
〒160 0004
新宿区四谷1 29 9
しんまつビル7F
phone:03 3350 0721
facsimile:03 3350 0723
e mail:shigeta@seihokei.co.jp

不動産売買・賃貸・仲介
株式会社 トウリハウジング
代表取締役
30期G　山田正明
〒115 0045　北区赤羽2 16 10
エバーグリーン2F
Tel. 03 5249 7115
E mail:yamada@touri h.co.jp

M's　有限会社エムズ
新築からリフォームまで
NPO法人日本耐震防災事業団加盟
一級建築士・耐震診断士
26期H　吉野正一
〒113-0022 文京区千駄木2丁目18番6号
Tel.03 5815-5078　Fax.03 3824 4340

Akeshi Architect Office
榊建築事務所
建築設計・監理
NPO法人日本耐震防災事業団理事
一級建築士・耐震診断士
26期F　榊恒一
〒174 0074 板橋区東新町2 17 8 101
Tel.03 3972 1380 Fax.03 3972 1381

第二回文落連笑涯楽習に出席して

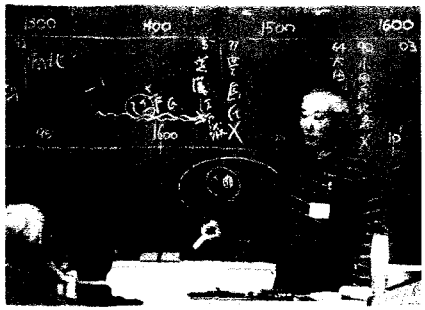
三月十三日(土)午後二時から母校教室で第二回文落連笑涯楽習が開催された。今回のテーマは金子国昭氏(11期F)による「母校周辺地域(巣鴨)の昔物語」で、三五名の生徒が熱心に受講した。以下、出席された岩本つぐ江さん(17期G)の報告。

昨年は赤坂先生のローマ字の話、国語辞典の使い方、江戸言葉のことなどの話の中に義母が口ずさんでいた言葉遊びあったことに新鮮な驚きを感じました。

今年のテーマは金子さんの「母校周辺地域(巣鴨)の昔物語」ということでどのような話だろうと、とても楽しみにしていました。飯塚級長の司会で始まった第二回文落連笑涯楽習は、皆さんの近況や昨年の講演の感想などのあと、金子さんのお話をお聞きしました。黒板に引かれた五〇センチを百年とする時間のスケールで、その時代じだいの主な出来事を年表風に示し、時間の流れというものがとても解かりやすい説明で「トシマ」が万葉集や風土記の時代からあった古い地名で、あれほど広い地域を指していたという事を初めて知りました。また、江戸開府四百年と言われておりますが、徳川家では、江戸時代を一六〇三年の徳川家康が征夷大将軍になった年でなく、一六一五年の大阪夏の陣の終わりから始まったと考えていたのではないかと言う話、各街道の出発点だった江戸四宿のなかでも内藤新宿だけは江戸町奉行の支配下にあり、新宿は御府内であったこと、その時代、内藤新宿での参勤交代は三家(内藤新宿のいわれとなった高遠藩内藤家、飯田藩、高島藩)しか通過しなかったことなど示唆に富んだ面白いお話で、私が住んでいる今の新宿からは想像すらつかない昔の新宿に想いを馳せた楽しいひとときでした。

同窓会の方々も加わったブレイクの後では、母校の前の細い道が「五千万歩の男・伊能忠敬」が御用の旗を立てて歩いた道であったという話で、昨年、東京国立博物館での「伊能忠敬展」を見た時、その事を識っていれば、もう少し見方が変わっていたのではと今考えています。

今回も盛りだくさんの内容で時間が足りなくなり残念に思いました。又、何時か続きを期待しております。



時間スケールで講義の金子さん

示現会会員
2期A **若林成佳**(市三会会長)
アトリエ 〒101-0025 千代田区神田佐久間町1-8-608
Tel & Fax.03-3255-5973
e-mail:shigeyoshi.wakabayashi@nifty.com

講談師 **神田甲陽**
(平成元年由陽師匠より真打ち認可)
サラリーマン講談と名打って全く新しいジャンルの文学講談を確立する。「救ライの母・小川正子の生涯」など
3期B **末利光** Tel.055-253-8772

社団法人 日本詩吟学院吉風会
総会・正師範
1期E **榎本岳迎(幸三)**
漢詩・和歌・俳句・新体詩
吟詠を楽しみませんか。
連絡先 Tel・Fax 03-3489-7591

東京電機大学短期大学
学長
11期D **金田輝男**
〒101-8457 千代田区神田錦町2-2
Tel.03-5280-3356
Fax.03-5280-3565

自動車ジャーナリスト
NPO法人・RJCAJAJ会員
5期B **福永頌**
(筆名 鈴木五郎)
〒186-0003 国立市富士見台1-28-1-35-403
Tel.042-577-3750

古流松濤会家元・会長
千家表流茶道宗家
5期D **若林百合子**
〒113-0022 文京区千駄木2-31-1
(自) Tel.03-3821-9176
(勤) Tel.03-3827-7018

花と式典
株式会社 杉元
代表取締役社長
7期B **松下健一**
〒113-0033 文京区本郷5-2-2
Tel.03-3813-5601
Fax.03-3813-5604

スペイン王立舞踊演劇高等芸術学院
(コンセルバトリオ・デ・マドリー)公認師範
フラメンコ舞踊
21期G **小林伴子**
スタジオ
〒171-0033 豊島区高田3-13-8
ヨシミビルB2
Tel & Fax 03-3980-5658
http://www.la-danza.net

村口昌之 建築家 5期B
日本工業大学 建築学科教授
人間時空 human space time
SPACE CONCEPT
Tel.03-5701-2131
Fax.03-5701-2132
e-mail:sconcept@mxl.alpha-web.ne.jp

生物部OB会盛大に開催

生物部OB会が六月十二日午後二時より、東京「池袋サンシャイン六〇ビル」五九階、眼下に文京高校校舎を望む「櫻の間」で開催されました。今回は部創立昭和二三年から六三年まで、四一年にわたる卒業生三七五名に呼びかけ、顧問の石上二郎先生（昭和二二～四二年在職）、岩田浩司先生（昭和四二～五六年在職）、熊谷重明先生（昭和四六～六一年在職）をお迎えし、七〇名が参加しました。

昨年六月亡くなられた高田博司先生（昭和三五～四六年在職）物故者の方々に黙祷の後、静谷晴夫氏（生物部一期）の挨拶で開会、続いて矢島稔氏（二期）が乾杯の音頭を取り歓談に。顧問の先生方は教育、環境保護などの場で、今なおご活躍されているとのこと。懐かしい部活の写真投影や、各方面で活躍されている方々のスピーチ、展示などを見聞きしながら、何十年ぶりの邂逅に話ははずみ、盛会のうちにあっという間の二時間半でした。話が尽きず、二次会に向かったグループもありました。今回の会は幅広い年齢層にわたっていましたので、世代間での親睦が十分できなかった面もあったようです。次回は世代間の交流ができるようなOB会を持てたらと思っています。生物部OB会ホームページを立ち上げ準備中。

（16期C　吉川研二）

池袋サンシャインで開かれたOB会に出席された顧問の先生方や生物部OBたち。

高田先生を偲ぶ会

高田博司先生が平成十五年六月九日肝不全でお亡くなりになりました（昭和三五年より昭和四六年迄生物科教諭として在職。生物部、落語研究会顧問）。平成十五年十月十九日、「故高田先生を偲ぶ会」を生物部が主体となり、奥様のみほ様、ご子息の浩明様、在職当時同じく生物部顧問でいらした石上二郎先生、岩田浩司先生をお招きし、池袋「吉野」において開きました。文京高校同窓生の参加二四名。

第二十二回定期演奏会のおしらせ

日時　二〇〇九年二月二日（木）
（午後六時開場　午後六時二〇分開演）

場所　北区北とぴあ　さくらホール

演奏曲目
- J・シュトラウス／歌劇「こうもり」序曲
- J・バーンズ／ハガニーニの主題による幻想変奏曲
- 映画音楽特集

小室産婦人科医院
院　長
三期E　**小　室　陽　一**
〒114-0021 北区岸町1-42-22
病院　Tel.03-3907-0303
自宅　Tel.03-3907-0280

二期A　**湖　山　聖　道**
・医療法人社団　湖理会　理事長
銀座病院／銀座健康管理センター
健康倶楽部銀座／健康倶楽部北野
〒104-0061 中央区銀座7-13-15
Tel.（代）03-3541-1151
・湖山医療福祉グループ　理事長

野村医院
院　長
一期B　**野　村　総一郎**
〒302-0017 取手市桑原1081
Tel.0297-74-8811

老人保健施設　北埼玉ヘルスケアビレッジ
医療法人　純真会
理学療法士
5期E　**椎　名　健　二**
施設　〒349-1212 北埼玉郡北川辺町友倉191
Tel.0280-62-3155　Fax.0280-62-3700
自宅　〒112-0005 文京区水道2-11-4
Tel.03-3943-3912

医療法人　社団汀会津田沼病院
理事長・院長
8期D　**梶　本　伸　一**
〒275-0016　習志野市津田沼1-18-15
Tel. 0474-79-2611
Fax. 0474-73-5075

静谷クリニック（内科）
四期B　**静　谷　晴　夫**
〒170-0001 豊島区西巣鴨1-6-2
病院　Tel.03-3910-1136
自宅　Tel.03-3910-1219

同窓有志のサロン　**市　三　会**
会員100名、毎月の夕食会は銀座のレストラン、今年は10月に当会最大のイベント30周年記念行事を由緒ある三井倶楽部で開催予定につき、新会員の拡大キャンペーンを実施中。その他春の講演会、秋のグルメ旅行、忘年会、新年会、を通じて親睦を図る楽しい会です。お申し込みは葉書、電話、メールにて。
会長　若林成仁（2期A）　〒101-0025 千代田区神田佐久間町1-8-601
Tel&Fax:03-3255-5973 e-mail:ichisankai@aol.com

株式会社　サトウケミカル
医薬部外品製造販売／化粧品製造販売
1期C　**佐　藤　佳　男**
〒352-0002 新座市野火止8-16-7
会社　Tel.048-481-2323
自宅　Tel.048-474-8156

7期会開催のお知らせ

オリンピックの開催年に開催しております7期会を十一月三一日(日)午前十一時三〇分より【銀座アスター・新宿賓館】(新宿・伊勢丹隣り)七階特別宴会場にて開催します。

7期会会員諸氏には九月にご案内を発送しますので、お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

(7期A　由添忠親)

毎年開催、11期同期会便り

11期の同期会は毎年行われている。今年も六月十九日(土)巣鴨駅前・泰平飯店(例年大体この頃、この場所)で行われ、三三名が集まった。最初は還暦までは毎年開催しようとの幹事の意気込みで始まったが、還暦を過ぎた今でも毎年開いている。担任の先生方も菅野・渡井・赤坂先生は元気に毎回参加いただいている。「このところ女性の参加が減ってきているが、皆さんお誘いあってご一度参加し、楽しんでいって欲しい。きっと何か得るところがあります」と幹事の君崎さん(下組)。また、今年は名簿の充実と会への出席者を増やしたい意向で、住所変更の方はクラス幹事または同窓会ホームページでの書き込みに是非協力をお願いしている。

同期会の主幹事の三瓶鋭二さん(〇三・三五七七・七一一八)、君崎悦子さん(〇三・三九〇一・一七〇一五)も連絡を待っている。

第十二回「東京校歌祭」は十月二日(土)日比谷公会堂で奮って参加しましょう

本年の校歌祭は本来の会場である日比谷公会堂で実施します。PTAも参加しますので、校歌・生徒歌の一曲でも歌える方は奮ってご参加下さい。

日時▼十月二日(土)午後二時～六時十分　我が校の出演は四時五〇分頃(出演者は四時迄に会場に集合)

場所▼日比谷公会堂

曲目▼市立三中校歌、生徒歌(後述)、現校歌の三曲　いずれか一曲でも可

練習▼九月下旬に実施します。

終戦とともに市立三中校歌が歌われなくなり、現在の校歌制定が昭和四三年(21期が二年)です。その間、歌われたのが「あした望めば遥かなる富士の高嶺に誠あり」の生徒歌です。この生徒歌を作詞・作曲されたのが、昭和二六年に本校に赴任された遊川益次先生(国語、七九歳)です。先生は大学卒業後、藤原歌劇団に所属され、オペラ歌手を志望されたが、周囲から正業に就くよう説得され、高校教師として本校に赴任された。以来昭和三二年まで六年間本校で国語を担当された。本年卒業五〇周年を迎えた6期生を担任され、現在も東雲谷にお住まいで、美しい声で歌われます。　(12期C　杉本　安弘)

ニュー千代田ビル
秋葉原運輸株式会社　常務取締役
アルテール秋葉原管理組合　理事
2期A **若林成佳**
〒101-0025 千代田区神田佐久間町1-8-608 & 603
Tel & Fax: 03-3255-5973
e-mail:shigeyoshi.wakabayashi@nifty.com

1期A **樋口良雄**
〒112-0011 文京区千石1-24-11
Tel.03-3942-0450

株式会社　末商会　専務取締役
(出光ガソリン・貸ビル・自動車販売整備)
NPO法人　小石川後楽園庭園保存会　理事長
1期B **末正明**(市三会名誉会長)
本社　〒112-0004 文京区後楽2-6-1
Tel.03-3811-0755
Fax.03-3815-7818
飯田橋 Tel.03-3269-0257　神保町　Tel.03-3261-5111

有限会社　内田製作所
代表取締役
27期B **内田誠**
MOBILE 090(1992)1358
本社　〒171-0051 板橋区小豆沢2-35-3
第一工場　Tel.03-3966-3596 Fax.03-3966-6822
川口工場　〒333-0811 川口市上青木1-9-18
Tel.048-256-5779 Fax.048-256-5785
E-mail:uchidass@mb.infoweb.ne.jp

東京ガス株式会社
取締役常務執行役員
導管・保安本部長
12期C **小林剛也**
(勤)〒105-8527　港区海岸1-5-20
Tel.03-5400-7525
(自)〒112-0002 文京区小石川3-4-19
Tel.03-3816-0803

高千穂産業株式会社
代表取締役
10期A **若尾迪治**
〒114-0014 北区田端3-15-3-106
(会)Tel.03-3822-1421
(自)Tel.03-3827-3200

名刺広告を出そう！

ご自身の現状報告と同窓生へのメッセージと同窓会活動への資金拠出…1コマ1万円
10～50歳代の若い方　大歓迎　本年は39期の村上正法氏と45期の齋藤武氏が自発的に応募。
応募希望者は母校同窓会宛、手紙か葉書で、または同窓会のホームページへご連絡を

写真感光材料工業会
専務理事
12期C **杉本安弘**
(勤)〒102-0082 千代田区一番町25
E-mail:kanzai.sugimoto@nifty.com
(自)〒171-0051 板橋区小豆沢1-11-3
Tel & Fax.03-3966-6056

鳥海山麓　齋藤農場
代表
15期B **齋藤武**
2001年より新規参入で農業を始めました
農薬を使っていない、おいしい自然乾燥米販売しています
お気軽にお問い合わせ下さい
〒999-8301 山形県鶴岡市温海温海川字千俵山根67
Tel & Fax.0234-71-2313
http://www10.ocn.ne.jp/~f-saito/
e-mail:f-saito@muse.ocn.ne.jp

卒業生進路状況

1. 16年3月卒業生(56期)の進路

	区分	男子	女子	計
進学	4年制	74	60	134
	短期	0	15	15
	専門	12	28	40
	計	86	103	189
就職	公務員	2	0	2
	民間	1	2	3
	計	3	2	5
未定		50	32	82
合計		139	137	276

本年度の特徴は

1) 4年制大学への進学が増加している。一昨年41%→昨年45%→本年49%に。国立大学合格者は埼玉大学はじめ7名。昨年よりも1名増となっている。私立大学も1名増の280名。

2) 短大進学者は、一昨年20名→昨年17名→本年17名。

3) 未定者82名と、本年度は増加した。

これは、安易に推薦入試に頼らず、浪人しても、目指す大学に入りたいという気持ちの生徒が増えたことによる。

文京高校は、生徒の進路希望を実現させるために、既に導入された二期制や、各種講習に加え、夏の学習合宿、土曜補習など様々な試みがなされている。昨年重点支援校に指定され進学指導の充実などがはかられている。今後も期待したい。

1) 四年制大学

(1) 国公立大学

埼玉大学	1
広島大学	1
富山大学	1
東京都立大学	2
都立保健科学大学	1
東京海洋大学	1
国公立大学合計	7

(2) 私立大学

青山学院大学	6
江戸川大学	1
桜美林大学	2
大妻女子大学	2
学習院大学	3
学習院女子大学	2
神奈川大学	3
川村学園女子大学	1
神田外語大学	1
神奈川工科大学	6
北里大学	2
恵泉女学園大学	1
工学院大学	10
国学院大学	2
国士舘大学	8
駒澤大学	6
産能大学	1
芝浦工業大学	7
十文字学園大学	2
淑徳大学	1
城西大学	3
尚美学園大学	1
昭和大学	2
女子栄養大学	1
成蹊大学	5
成城大学	1
専修大学	12
大正大学	1
大東文化大学	15
拓殖大学	1
多摩大学	1
千葉工業大学	2
中央大学	5
帝京大学	1
帝京平成大学	1
桐蔭横浜大学	1
東海大学	6
東京家政大学	2
東京経済大学	3
東京工科大学	3
東京工芸大学	1
東京国際大学	1
東京成徳大学	3
東京電機大学	8
東京農業大学	6
東京理科大学	1
東邦大学	1
東洋大学	28
獨協大学	1
日本大学	20
日本女子大学	3
日本女子体育大学	1
日本体育大学	6
フェリス女学院大学	1
文化女子大学	2
文教大学	1
文京学院大学	1
法政大学	9
武蔵大学	6
武蔵工業大学	1
武蔵野大学	1
明海大学	1
明治大学	3
明治学院大学	7
明星大学	2
目白大学	3
ものつくり大学	1
立教大学	3
立正大学	4
和光大学	1
早稲田大学	4
私立大学合計	280

四年制大学合計	287

2) 短期大学

(1) 公立短期大学

東京都立短大	1
公立短大合計	1

(2) 私立短期大学

大妻女子短大	4
昭和女子短大	2
女子栄養短大	1
東京家政短大	1
東京成徳短大	3
山脇学園短大	3
埼玉医大短大	1
国際学院埼玉短大	1
桜美林大短大	1
武蔵丘短大	1
ヤマザキ動物看護短大	1
私立短大合計	22

短期大学合計	23

奨学賛助金に62名が協力、46万余りが集まりました。

平成16年３月卒業生（第56期）のうち、学校側で選んだ成績優秀者60名に対し、図書券（１万円分）を贈りました。

◇奨学賛助金　協力者一覧

平成15年４月～16年３月（一口　5,000円）

５万円
宮川美知子　25C

２万円
榎本　幸三　4E
浜口　宣子　6C

1万5千円
堀田　実　19H
沢田　健治　35A

１万円
木村　欽一　1A
清水　一彦　2A
白川　隆夫　2B
堀内　勝彦　2D
伊東　映二　4C
岡部美代子　5F
梅澤　隆子　8A
竹田　先生　9F
梶本　伸一　10D
豊田　耕一　11A
籏　紘矢　11D
高宮　三郎　13F
富岡　吉勝　14F

５千円
伊藤　昭彦　1B
細田　純正　3C
藤ヶ谷敏明　3C
篠原　荘輔　3C
新倉　和夫　3E
後藤正八郎　3E
福田　実　四D
菊池　達長　四C
森　理　2A
渡辺　弘　2A
久保田昭平　2B

５千円
尾形　悦郎　2D
小山　実　3C
江口　秀夫　3C
植村　耕作　3E
原　昌彦　4A
岡本　光右　4B
野本　林　4E
村瀬　和夫　4F
諸橋　肇　5A
野口　孝平　5A
太田　往男　5B
福永　頴　5B
織原　五男　5E
野口　幸男　5E
玉居子幸信　5F
椎橋　章二　6A
清野　公夫　6B
多田　實　6B
尾形　佳郎　6C
神谷　正行　9D
吉川　典紀　11B
松永　江哉　11D
三井　徳子　11F
滝谷敬一郎　12D
簗瀬　明道　12E
園部　禮子　12E
有賀　慶子　12F
新井　弘順　14A
山田　朝子　14B
田中　道子　19F
坂倉　豊　28E
下越ひろみ　30F
木部　美香　41F

◇その他寄付

５万円　５期同窓会
3.6万円　静谷　晴夫　四B
１万円　朝日　良次　先生
５千円　神戸　善裕　3C
菅野　二郎　先生
５千円　高瀬　亨子　先生
４千円　清水　一彦　2A
３千円　太田　顧問　3A
矢嶋　光春　3C

（卒期の漢数字は旧制、洋数字は新制高校卒です）

運営協賛金に197名の出資、74万余り集まりました。

◇同窓会運営協賛金への協力者一覧

平成15年４月～16年３月

３万円
榎本　幸三　4E
１万５千円
塚越　弘二　3E
１万円
大蔵丈太郎　2A
白川　隆夫　2B
勝家　孟子　3E
石田　文雄　1A
永井　義郎　1B
小松　征子　8F
豊田　耕一　11A
９千円
中村　訪一　5A
生駒　信子　10F
増子　隆　13A
沢田　健治　35A
６千円
清水　一彦　2A
浜口　宣子　6C
若木　里子　6D
殿塚　献一　7D
中谷達次郎　8D
園部　禮子　12E
有賀　慶子　12F
高宮　三郎　13F
猪瀬　敏明　14B
唐橋幸市郎　18H
遠嶽　信幸　20I
岸　寛　25B
５千円
藤篠　智毅　7C
簗瀬　明道　12E
木村　宣昭　55D
三位　信夫　5D
高木　聡輔　5D
中村　昌男　5E
織原　五男　5E
野口　幸男　5E
椎名　健二　5E
熊谷　哲子　5E
真瀬　徹　5E
玉居子幸信　5F
岡部美代子　5F
神永　明弥　5F
川田　宏　6A
岡部　好成　6C
大竹　豊子　6C
小野　元　6E
石森　聰子　6F
小出　玲子　7B
宮崎　充弘　7D
中尾　充宏　7E
鈴木　秀男　8B
布村　春美　8B
佐々木高道　8C
鹿島　智巳　8D
豊岡　勇　8D
岡田　康夫　8E
高橋　嘉郎　8E
佐野　雅英　9C
渡辺　勝久　9C
神谷　正行　9D
藤崎　可雄　10D
梶本　伸一　10D
豊田　二郎　11C
青山　一郎　11C
柳田　晴義　11D
三井　徳子　11F
尾形　悦郎　2D
斎藤　弘之　3B
清水　伸一　3B
小山　実　3C
月原　努　3C
江口　秀夫　3C
神戸　善裕　3C
仲田　逹男　3D
小林　登　3D
田中　瑞穂　3D
竹田　晶　3D
植村　耕作　3E
岡本　彬　3E
矢島　稔　3E
関根　光雄　3E
原　昌彦　4A
桑原　清　4A
上屋　晴夫　4B
岡本　光右　4B
豊田忠之助　4C
陽田　幸男　4C
宮田　親平　4C
磯部甲太郎　4D
鶴　弘幸　4D
野本　林　4E
村瀬　和夫　4F
野口　孝平　5A
高松　昭　5B
太田　往男　5B
荻田　博通　5B
工藤　晶巨　5B
村口　昌之　5B
早川　澄夫　5C
三位　信夫　5D
高木　聡輔　5D
中村　昌男　5E
織原　五男　5E
野口　幸男　5E
椎名　健二　5E
熊谷　哲子　5E
真瀬　徹　5E
玉居子幸信　5F
岡部美代子　5F
神永　明弥　5F
川田　宏　6A
岡部　好成　6C
大竹　豊子　6C
小野　元　6E
石森　聰子　6F
小出　玲子　7B
宮崎　充弘　7D
中尾　充宏　7E
鈴木　秀男　8B
布村　春美　8B
佐々木高道　8C
鹿島　智巳　8D
豊岡　勇　8D
岡田　康夫　8E
高橋　嘉郎　8E
佐野　雅英　9C
渡辺　勝久　9C
神谷　正行　9D
藤崎　可雄　10D
梶本　伸一　10D
豊田　二郎　11C
青山　一郎　11C
柳田　晴義　11D
三井　徳子　11F
佐藤　公博　12C
渡辺　和昭　12D
徳丸　洋子　12E
長谷　川章　13A
石渡　博之　13B
鈴木　孝　13C
栗又　俊二　13C
松山　昌平　13D
野口　政則　13D
宇野　峰子　13E
新井　弘順　14A
徳田荒基子　14B
鈴木　繁樹　14D
富田　久子　14E
浜田　典子　14F
富岡　吉勝　14F
高岡　祥治　14F
榎　名　16A
酒寄　茂雄　16A
菊地　賢二　16G
落合レイ子　17E
堀切　貞男　17F
河井　透　18C
藤原　泰子　18D
湯原　民子　18I
夷　紀代子　19B
堀田　実　19H
稲見　一郎　19H
倉島　清　19I
宮田　悦子　20C
河原　仁　20C
柏原　英明　20D
山本　明　20I
加登　進也　21F
鳴方　猛　22F
伊東　久寿　22F
手田忠美子　23A
持永　和明　23C
中川　和子　23C
持永　和明　23C
柴田　欣治　23H
宮崎　茂幸　23I
金子　良夫　24C
志渡真木子　25B
伊関　明子　25D
泉水　純子　26F
奥山　秀子　26F
羽場　弘明　27C
関本　志貴　27H
坂倉　豊　28E
若田　賢一　29C
杉山　理男　29G
西田　漣　30A
西山　典　30F
飯田　秀子　30F
下越ひろみ　30F
塚越　淳　31E
内田　玲子　31F
青木　俊之　31G
原　久美子　31I
小室　雄二　36B
相原　祐司　40F
野村明希子　48H
若下　均　49A
荒木　夏美　55A
桑元　梨江　55F
２千円
藤原　住奈　45B

編集後記

ある大学の先生に聞いた話だが、最近は教室で黒板に先生が書いたものを消そうとすると、学生の多くがケータイでパシャと黒板を取るらしい。ノートに書き込む替わりにケータイでの撮影となるらしいが、先生も何も書かないよりは良いと概ね認めている方が多いそうだ▼皆さんも実感されていると思うが、ここ数年の通信環境はすっかり変った。つい四、五年前は家庭でFAXをもっているのが進んでいるといえた時代だったが、それがインターネットの普及によりパソコン通信になり、現在はそれがケータイメールになっている。とくに若い人はケータイで通話よりも、メールをむしろ好んで使っている▼こんな時代での同窓会会報はどのような意味合いがあるのか考えさせられる。二四ページの薄い会報が年一回届いても、感心を示さない方も多いだろう。やはり時代にあった同窓会としてのコミュニケーションツールが必要だ▼そんなわけで、昨年念願の同窓会ホームページがオープンした。まだ、アクセス数は千四百程度と少ないが、これから使い勝手を良くして、クラスの、クラブの仲間の連絡板として機能していくようにしたい▼一万五千人の文京同窓生が、この電子メディアを通じて、何かの縁でつながりあうのも、新しい同窓会の意味合いといえる。リンクしている同窓生のサイトに立ち寄るのも、新しい発見があって楽しい。また掲示板に同窓会に対する意見や要望を気軽にどしどし書き込んでいただきたい。それが同窓会や紫筍の充実に繋がるものと期待している▼写真付きメールでの「サイトで同窓会」もそう遠からずか（籠）

平成16年度予算

〔平成16年4月1日～平成17年3月31日〕

会長　榎本幸三（4期E）

〔財産目録〕	
（預金合計）	42,341,308円
基本財産	
信託・定額預金	34,271,699
奨学基金	7,269,193
周年行事積立金	800,416

〔収入合計〕	11,363,717円
前年度繰越	4,863,717
入会金（16,500×275名）	4,535,000
運営協賛金	750,000
奨学金	460,000
名簿販売金	100,000
賛助金（広告）	450,000
同窓生の集い会費	100,000
預金利息	3,000
その他寄付等	102,000

〔支出合計〕	6,500,000円
名簿発行費	
400冊・クラス別（449組）	800,000
紫筍発行費・印刷	
発送・郵送・振込票代	2,500,000
奨学金（図書券）	
10,000×50名	600,000
母校後援費	
部活動・進路指導	1,000,000
同窓生の集い直接費	600,000
校歌祭後援費	120,000
総代会開催費	
通信・会合費	100,000
運営費・事務用品	
通信・交通・お茶代	250,000
名簿管理CP化費	0
予備費	330,000
積立金	
母校周年行事積立金	200,000

平成15年度会計報告

〔平成15年4月1日～平成16年3月31日〕

会計担当　鈴木　孝（13期C）

〔財産目録〕	
財産目録合計	42,341,308円
信託・定額預金	34,271,699
奨学基金	7,269,193
周年行事積立金	800,416

〔収入合計〕	10,927,125円
前年度繰越	4,388,101
入会金（16,500×275名）	4,537,500
運営協賛金他諸費	735,000
奨学金	465,000
名簿販売金	105,300
賛助金（広告）	460,000
同窓生の集い会費	112,000
預金利息	3,224
その他寄付等	121,000

〔支出合計〕	6,063,408円
名簿発行費	
400冊・クラス別（442組）	724,271
紫筍発行費・印刷	
発送・郵送・振込票代	2,409,455
奨学金（図書券）	
10,000×60名	600,000
母校後援費	
部活動・進路指導	992,240
同窓生の集い直接費	526,310
校歌祭後援費	120,000
慶弔費	0
総代会開催費	
通信・会合費	68,045
運営費・事務用品	
通信・交通・お茶代	200,717
名簿管理CP化費	142,380
予備費	79,990
母校周年行事積立金	200,000
繰越金（初期運営費）	4,863,717円

平成16年4月11日
監査の結果以上に相違ないことをご報告申し上げます。

監　査　有賀　慶子（12期F）㊞

10月17日（日）、第12回　同窓生の集い

平成５年10月に始めた“同窓生の集い”は今年12回目を迎え、同窓会の活性化に直結する行事として、同窓会４大事業の一つと位置付けられています。
会員皆様お誘い合わせの上、多数の方の積極的なご参加を！

日　時	**10月17日（日）　午後２時～**
場　所	**母校　４階　視聴覚教室**
内　容	軽食と飲み物で懇親会を行いますので、クラブＯＢ会にもご利用下さい。
会　費	**2,000円**　同封の振込用紙をご利用下さい。（締切　10月８日）

◎　恩師・旧職員はご招待です。是非ご出席の程お願い致します。

ホームカミングデー

卒業50年（６期Ｓ29卒）、卒業25年（31期Ｓ54卒）はご招待！

上記の期を教えられた先生で、当日ご出席予定は、（順不同）
菅野二郎先生、中田重成先生、石上二郎先生、
岩田浩司先生、松浦桂子先生、吉野哲也先生、太田敏夫先生

●「同窓会の集い」申込や、運営協賛金、奨学賛助金等は同封の振込用紙をご利用下さい。

１．同窓会運営協賛金	１口　3,000円	４．「同窓生の集い」申込み　１人　2,000円
２．奨学賛助金	１口　5,000円	５．その他……目的を明示した寄付。
３．名簿購入代金	１冊　4,800円	

●卒業クラスの名簿の空白部分を埋めましょう。また誤り・変更がある場合も同窓会宛、葉書、封書で連絡下さい。または同窓会ホームページからも簡単に連絡できます。（電話不可）

『紫筍』第47号・2004年　発行・平成16年９月10日　発行者・東京都立文京高等学校同窓会『紫筍』編集委員会
〒170-0001　東京都豊島区西巣鴨一丁目一番五号　東京都立文京高等学校内